

ノンプリズムトータルステーションを用いた
クラック幅・形状測定システム

KUMONOS



NETIS登録
No.KK-080019-V

クラック測定システムを、ハードからソフトまで



特 徴

- ・高精度ノンプリズムトータルステーションを使用し、クラックを測定します。
- ・最大350mまで測定可能。(好条件下でのノンプリズムモード最大測定可能範囲)
- ・観測データは本体にメモリし、CFカード(最大512MB)を用いてパソコンへデータを移動します。
- ・従来の観測に必要な足場や高所作業車は必要ありません。1人で観測可能です。
- ・法面やトンネル坑内の展開図、建物の立面図が作成できます。
- ・正確なデータ取得により、経年変化の観測が可能です。(クラック成長度の管理など)

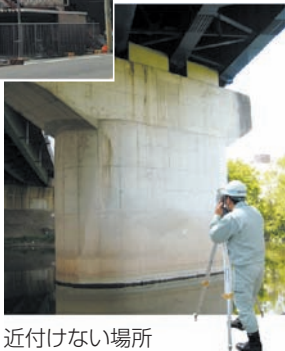
トータルステーション仕様

メーカ・型式	ソキア・SET-KKS(SET4130R準拠)
望遠鏡	40倍 スケールパターン付焦点鏡
測角精度	5"
測距精度(ノンプリ200m)	±(3+2ppm×D)mm D:測定距離(単位mm)
内部メモリ容量	9,900点
本体重量	5.8kg

計測事例



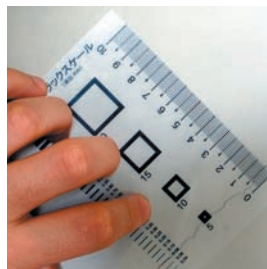
高い建物



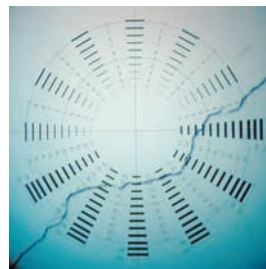
近付けない場所

解析ソフトウェア仕様

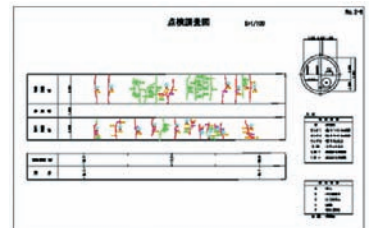
対応OS	Windows XP以降
メモリ	128MB以上
ディスプレイ	1024×768ドット以上
インターフェイス	CFカード読み取り機能が必要
その他ソフト(必須)	Excel2003、AutoCAD2000以降のバージョン



従来のスケール観測



望遠鏡から見えるクラック



参考成果品



総合レンタル業のパイオニア
西尾レントール株式会社
<http://ict.nishio-rent.co.jp/>

お問い合わせ